

9 研究活動と研究環境

進捗状況報告

・2007年度は3名の学生に学会交通費実費補助を行い、学会発表を奨励した。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

・研究科間の国際連携については、国際交流の項目に記載しているとおり2007年5月に北京第二外国語学院の日本語系と英語系と研究科間協定を締結し、2008年秋学期には客員教員を1名招聘するとともに協定内容の具体化について話し合うため、北京第二外国語学院から副学長をはじめ5人の教員を招聘している。今後、カナダの大学やヨーロッパの大学等縁のある大学と協定を結べるよう検討していく。研究科間協定が充実してくれば学生交流も可能になってくるであろう。

学内第三者評価

研究公表について着実に成果が上がっている。
2005年度の改善の具体的方策の【9.2 研究活動】にある「海外での学会活動にも力を注ぐ必要があり、そのためにも研究科間における国際連携について検討していく」についての記述が望まれる。また、2007年度の学内第三者評価結果を受けての追加記述にあるとおり、引き続き論文数も考慮しながら施策の妥当性を点検・評価していくことが望まれる。